

高田地区海岸養浜技術検討委員会

設立趣意書

高田地区海岸は、白砂青松で知られる国指定文化財「名勝 高田松原」で、市のシンボルとして地域に親しまれていたと共に、海水浴を初めとする年間約 100 万人の観光客が訪れていた。

しかし、H23. 3. 11 東日本大震災による津波及び地盤沈下の影響でほとんどの砂浜は消失した。

高田松原周辺には、氾濫原平野堆積物の砂礫が多く分布されていたが、現在は護岸・砂防堰堤等の整備により砂の供給が少ない状況であり、自然回復では、数百年オーダーの時間を要すると推察される。

地域住民は、砂浜と松原の復元を強く望んでおり、陸前高田市震災復興計画（H23. 12 策定）においても海浜の復元が位置づけられていることから、観光資源として大きな役割を果していた砂浜の養浜を行うものである。

以上のことから、学識経験者により開催する本委員会で、その方針や技術的方法について検討し、意見をいただくものである。